

I 教育委員会当初予算の基本的な考え方

県教委では、人口減少や高齢化の進展、技術革新やグローバル化などの急激な社会状況の変化や、本県の子どもたちの状況等をとらえた上で、平成30年10月に策定した「山口県教育振興基本計画」に基づき、本県の教育課題に的確に対応した諸施策を総合的・計画的に推進しています。

こうした中、県の令和3年度当初予算では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と経済活性化の両立を図るとともに、コロナ危機から生まれた社会変革を山口県の成長につなげるため、その原動力となるデジタル改革等を県政全般にわたり推進していくこととしています。

また、国の「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」にも呼応して、令和2年度補正予算との一体的な予算編成がなされたところです。

県教委においては、こうした県の予算編成方針のもと、令和2年度中に整備した教育ICT環境を活用した取組や感染症の感染防止対策を進めるとともに、教育振興基本計画の着実な実現に向け「7つの緊急・重点プロジェクト」に沿った取組を進めていきます。

特に、教育におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進については、児童生徒1人1台のタブレット端末等を全国に先駆けて整備したことから、こうした環境を活かして、一人ひとりに合った学びの充実や海外の学校との遠隔授業などに取り組みます。

こうした取組により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」の推進に向けて、全力で取り組んでまいります。

～広がる教室 深まる学び～

「やまぐちスマートスクール構想」の推進

学校等における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策